

穂学



令和3年度

広州日本人学校 学校便り

[No.15]

令和4年1月11日(火)

発行責任者 校長 加藤康德

「節目の年を迎えて（日中国交正常化50周年）」

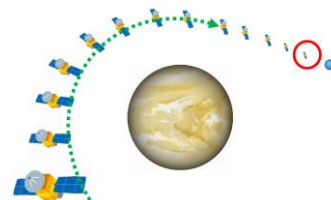
2022年が始まりました。「穂学」をご覧の皆様、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年は日中国交正常化50周年という日本と中国において節目の年と言えます。（※今から50年前の1972年9月29日、北京において日本側は田中角栄首相、中国側は周恩来首相の署名を経て、日中国交正常化の共同宣言が出されました。）

それから半世紀、新型コロナウイルスの脅威は未だ衰えを見せてはいませんが、広州日本人学校ではこの節目の年に、教育において日中国交正常化50周年が持つ意義を子どもたちに実感させたいと考えております。

「18名の友達が転入してきました。」

12月は受験などの関係で大勢の児童生徒が本校を去り、大変寂しい思いをしていたのですが、1月に入り新たに18名の児童生徒が転入してきました。このように多くの転入生を迎え、新年からまた子どもたちの元気な声を聴けることに喜びを感じております。広州日本商工会のご協力もあり、今後も3学期途中で多くの児童生徒の転入が見込まれています。日本人学校という特性上、常に児童生徒の出入りがありますが、一期一会という言葉の通り、この学校で偶然に出会い、本校での学びの時間を共有できることに喜びを感じながら、有意義な学校生活を送りたいです。そして、やがてはやって来る次のステップに向けての準備をさせたいと考えております。



「広東省内の地域が中リスク地に指定されました。」

広州市隣の東莞市の中リスク地指定が解除されたばかりですが、今度は深圳市で新型コロナウイルス感染者が確認されました。この状況に対応するため本校は昨年度末からの「レベル2」の対応を継続して行い、少なくとも広東省内のリスク地区が解除させるまでは様子を見ることにしました。（全校集会の中止、昼食時は前向き、マスクの着用、密接する教育活動の制限、入校者の制限 等）

なお、現在広州市も含め中国国内において新型コロナウイルス感染関係の防疫体制が強化されています。教育局、各社区、勤務先からPCR検査などの指示があった場合はご協力をお願いいたします。

※来校の場合は必ず事前に「穂康：スイカンコード」が「緑色」になっていることを確認してください。

「体力・運動能力調査の実施について」※1月10日～

日本では「子供の体力・運動能力や運動習慣・生活習慣等を把握・分析し、様々な施策の成果と課題を検証し、改善を図る」ことなどを目的に、公立小中学校の児童（小5）生徒（中2）を対象とした「体力・運動能力調査」を実施しています。

本校は海外にある私立学校なのでこの調査の対象校とはなりません。この調査と同じ種目を全学年で実施し、その結果を本校独自に分析して、子どもの体力向上に役立てています。

<種目内容>

- ・握力
- ・上体起こし
- ・長座体前屈
- ・反復横とび
- ・20m シャトルラン
- ・50m走
- ・ソフトボール投げ



<反復横とび>



<長座体前屈>



<上体起こし>

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（日本の状況）

※令和3年12月にスポーツ庁から公表された内容を一部抜粋

【体力合計点】

- 体力合計点については、令和元年度に比べ、小中男女ともに低下した。

【低下の要因】

- 低下の主な要因

- ①運動時間の減少
- ②学習以外のスクリーンタイムの増加（テレビゲームやスマホの画面を見る時間）
- ③肥満である児童生徒の増加

※新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」という。）の影響を受け、更に拍車がかかったと考えられる。また、コロナの感染拡大防止に伴い、学校の活動が制限されたことで、体育の授業以外での体力向上の取組が減少したことも考えられる。

○広州日本人学校への子どもの編入学をお考えの皆様へ！

この「穂学」をご覧になっている方で、今年度、または来年度に子どもを本校へ編入学させたいとお考えの皆様にお願ひがあります。広州への転居の話が出た時点（ビザ取得の有無は関係ありません）で、一度その旨をメールにより本校にお知らせください。本校は海外にある私立の学校として、その編入学の条件にいくつかの制約があります。日本の公立学校とはシステムが違うことをご理解ください。